

2023 年度日本認知症ケア学会・認知症ケア賞 実践ケア賞

borderless -with dementia-

【設立年月日】2020 年 4 月

【授賞理由】

認知症になったからこそ得られる経験や知恵を社会に発信する活動を行っています。

「認知症の人」と「そうでない人」の間にある壁を取り払い対等な関係性を構築するという理念の下で多様な人々が出会い学び合う場を提供してきたことは高く評価することができます。

【団体概要】

当事者とそのパートナーが協力して活動するなかで、「認知症の人」と「そうでない人」という明確な境界線に疑問をもつようになりました。そこから出発し、2020 年 4 月には認知症の人の経験を起点に、さまざまな活動を展開するためのコミュニティ／プラットフォームを立ち上げました。この立ち上げがコロナ禍に重なったことから、オンライン上での交流やピアサポート、本人発信などを行い、2021 年からは「ただ、ともに歩く」というコンセプトの下で「borderless hikerz」というプログラムを開始しました。今では、多様な人々が出会い、学び合う場として成長しています。

【事業活動】

1. 本人発信・社会参加：

認知症本人がやりたいことを実現する取り組み（旅行など）、本人の経験を発信する機会（講演や研修など）をコーディネート（主催者である自治体等との窓口、内容の検討等）、認知症プロジェクトに取り組む企業への本人の参画のコーディネート（窓口、内容への助言等）など

2. ピアサポート：ピアサポート活動の実施、オンラインピアサポートの支援

3. オンラインのつどいの場：orderless bar（毎週水曜 20 時から）

4. 出会いと学びのプラットフォーム：borderless hikerz（ハイキングなど）

5. その他：講演、執筆、書籍の監修、自治体事業のプロデュースなど

【褒 賞】

NHK 厚生文化事業団「第 4 回認知症とともに生きるまち大賞」ニューウェーブ賞

【業 績 等】

認知症当事者の経験を活かし、多様な活動を展開するコミュニティであるプラットフォームを活用し、当事者たちは、認知症になったからこそ得た経験や知恵、生活の工夫を社会に発信し、価値あるものとして伝える活動を行っています。当事者同士がつなが

り、やりたいことを実現することに注力し、エンパワーメントされた当事者が新しい活動に挑戦し、他の当事者を元気にする好循環が起きています。当事者たちの力を活かし、自治体の認知症関連事業や企業の認知症プロジェクトにもかかわり、対等な関係性のなかでまちづくりや社会参加を促進するためのコーディネートを進めるため、2022 年 9 月には一般社団法人化しました。